

汚染水処理対策委員会 トリチウム水タスクフォース（第14回）議事概要

日時：平成28年4月19日（火）13:00～15:00

場所：経済産業省別館3階312各省庁共用会議室

議題：

- （1）トリチウム水の取扱いに係る各選択肢（評価ケース）についての評価
- （2）トリチウム分離技術検証試験事業について
- （3）トリチウム水タスクフォース報告書 骨子について

出席者：

トリチウム水タスクフォース委員

主査	山本 一良	名古屋大学 参与・名誉教授、名古屋学芸大学 教授 (汚染水処理対策委員会委員)
	柿内 秀樹	(公財)環境科学技術研究所 環境影響研究部 研究員
	高倉 吉久	東北放射線科学センター理事
	田内 広	茨城大学理学部 教授(生物科学領域)
	森田 貴己	国立研究開発法人水産総合研究センター 研究開発コーディネータ 中央水産研究所海洋・生態系研究センター放射能調査グループ グループ長
	山西 敏彦	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門 ブランケット研究開発ユニット ユニット長

規制当局

今井 俊博	原子力規制庁 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室室長
-------	------------------------------

オブザーバー

竹葉 有記	水産庁増殖推進部 研究指導課長【代理】
村山 綾介	文部科学省研究開発局原子力課 廃炉技術開発企画官
臼井 将人	外務省軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室長【代理】
藤原 博次	技術研究組合 国際廃炉研究開発機構 理事
今津 雅紀	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 技術グループ審議役【代理】
松本 純	東京電力(株)福島第一廃炉推進カンパニー バイスプレジデント
菅野 信志	福島県生活環境部 原子力安全対策課長【代理】
蓮沼 明	原子力損害賠償・廃炉等支援機構
沼田 守	原子力損害賠償・廃炉等支援機構
鈴木 一弘	原子力損害賠償・廃炉等支援機構

汚染水処理対策委員会トリチウム水タスクフォース（第14回）概要

- トリチウム水タスクフォース第13回会合（前回会合）において、地層注入、海洋放出、水蒸気放出、水素放出、地下埋設の各選択肢を同様の条件下で比較検討するための条件設定を行い、これに基づく概念設計の検討を実施した。今回、事務局において、各選択肢の評価ケースについて、当該概念設計に基づき、処分に必要な期間、コスト、施設規模、処分に伴う二次廃棄物の発生量、処分に伴う作業員被ばく等の評価結果を整理し、審議を行った。
- トリチウム分離技術検証試験事業の事業成果とその評価について報告を行った。
- トリチウム水タスクフォース報告書の骨子案を示し、審議を行った。

概要は以下のとおり。

1. 資料1「トリチウム水の取扱いに係る各選択肢（評価ケース）についての評価結果（案）」について、事務局より説明。委員等からの主なコメントは以下のとおり。
 - 評価結果には、第三者監視に係るコストは含まれているのか。
→事業者が実施する監視に係るコストのみ計上している。
 - 海洋放出の設備について、取水ピットと放流口の間に関仕切りを入れる場合のコストについて付帯条件などに記載する必要がある。
 - システムの不具合があった場合の期間、コスト等についても考慮すべき。
 - スリーマイル島以外で大量のトリチウムを処理したケースはあるのか。
→通常の原子炉や再処理工場などの例がある。
 - 地下水バイパスやサブドレンは1,500Bq/Lで処理しているが、ここでは6万Bq/Lでの処理を条件としているのは何故か。
→様々なケースの技術的評価のためには何らかの横ら並び条件が必要であるため、今回は法令告示濃度を基準とした。
 - タンクの容量には余裕があるのか。
→汚染水発生量は、サブドレンや敷地舗装などにより抑制されてきているが、現状のタンクエリアはあと数年で一杯になる。
2. 資料2「トリチウム分離技術検証試験事業 事業概要報告」及び資料3「トリチウム分離技術検証試験事業 総括及び評価」について、事務局より説明。委員等からの主なコメントは以下のとおり。
 - 分離技術の概要資料の中には、分離係数やコストについて、必ずしも精査されていない数字が成果として記載されてしまっている。

●大変詳細な検討が行われたが、すぐに現地に適用できる技術は無いとの結論。

3. 資料4「トリチウム水タスクフォース報告書 骨子（案）」について、事務局より説明。委員等からの主なコメントは以下のとおり。

●本タスクフォースには非常に多くの方に来てもらい、プレゼンをしてもらった。参考資料として何らかの形で残した方が良い。

●今後のスケジュールは。

→次回、本タスクフォースの報告書を取りまとめたい。具体的な日程については別途調整したい。

●評価ケースから分離は除くのか。

→選択肢としては残す。記載方法については検討したい。

(以上)